

# 県政に関する質問から (本会議における質問・答弁)

紙面の都合上、1人2問ずつ掲載しています。その他の質問も、県議会ホームページの「インターネット中継」でご覧いただけます。



6月24日 一般質問(要旨)



自民議連  
いしほりんたろう  
石橋林太郎 議員  
(広島市安佐南区)

## 感染防止継続のための 県民への効果的な啓発

**問** 県民の協力により県内の新型コロナウイルス感染者数はゼロとなったが、今後も感染防止対策を継続していくことが重要である。

**答** 県民一人一人にどのように啓発していくのか。

**問** 今後の第2波を抑制しつつ、社会経済活動を回復させることが極めて重要な課題と認識している。

**答** このため、県民への最新の感染状況に対応した対処方針の発信、事業場別のガイドラインや飲食業等の「新型コロナウイルス感染症対策取組宣言」制度の活用等について、広報紙やSNS等を中心に、引き続き効果的な普及啓発に取り組む。

## 観光誘客促進事業の 効果と今後の観光施策

**問** コロナ禍により観光関連産業は今後も厳しい経営状況が見込まれる。

**答** 当該事業は、移動自粛の緩和を踏まえ、観光に対する安全・安心を確保しつつ段階的に誘客促進するもので、本県の魅力の再発見や再来訪につながることも期待している。

**問** 当面の間、外国や首都圏からの観光客は多く見込めないことから、観光施策の必要な見直しを行いながら、国や市町等とも連携して、本県への観光客数の早期回復に努めていく。



民主県政会  
たかもと みつる  
瀧本実 議員  
(広島市佐伯区)

## コロナ危機からの復活

**問** 今年度、次の10年を見据えた新たな総合計画を策定するが、コロナ危機により、ひと月先も見通せない方々もいる。

**答** 現状に苦しむ方々に対して、現状からの脱却を図る道筋を示す必要があると考えるが、所見を伺う。

**問** 新たな総合計画策定と並行して、今後5年間の事業戦略であるアクションプランを検討することとしている。

**答** コロナ危機後における県経済の回復と雇用確保に向けた道筋については、産業分野ごとにコロナ危機における課題の分析等を行った上で、短期的及び中長期的に取り組む施策を明らかにし、県経済の早期回復に全力で取り組む。

## 広島県運転免許センターの 親子室の増設

**問** 福山市内の東部運転免許センターでは各講習室に親子室が設置されているが、利用者の多い広島市内の運転免許センターでは親子室は1室のみである。

**答** 子どもと子育てにやさしい県を目指す観点からも、増設の必要があると考えるが、所見を伺う。

**問** 広島市内の運転免許センターの親子室は、優良運転者講習用の1室のみとなっているが、今年度、講習室1室に親子室を設置する予定である。

**答** さらなる増設については、子育て中に運転免許センターを利用される方の支援のため、引き続き整備を検討する。



広志会  
いほら おさむ  
井原修 議員  
(東広島市)

## 予防接種率の低下

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、病院での受診をためらう人が増え、予防接種率が低下傾向にある。このような傾向が続けば、複合的な感染症の流行が懸念されるが、どのように対応するか。

**答** 本県では、6月9日に厚生労働省が作成したリーフレットを活用し、定期接種を受ける必要性について情報発信に取り組むよう市町に依頼している。

**問** 予防接種は、感染症の発生及び蔓延を防止する観点から非常に重要だと考えている。県としては、市町とも連携し定期接種の状況を把握しながら、普及啓発に取り組んでいく。

## 障害者や要介護者が 感染した場合の対応

**問** 新型コロナウイルス感染症に障害者や要介護者の方々、特に重症心身障害児やその保護者等が感染した場合に、どう医療体制を確保していくのか。

**答** 高齢者や基礎疾患がある方が感染した場合、重度化のおそれがあることから、早期に入機関等の調整を行う必要があると考える。

**問** 特に重症心身障害児が感染した場合、個々の障害の特性や医療的ケアの内容等を踏まえた調整が必要となることから、感染症指定医療機関等が対応可能な年齢や医療的ケアの内容等を把握した上で、必要な病床を確保するなど、万全の医療体制を構築していく。



公明党  
くさかみか  
日下美香 議員  
(広島市中区)

## 配慮が必要な子どもたちの 育ちへの認識

**問** 子どもの健やかな成長を考慮すると、県は、家庭的な環境で愛着関係を養う里親制度を本気で推進すべきである。親元を離れざるを得ない子どもの育ちをどう認識し、今後どう関わっていくのか。

**答** 里親のリクルートや研修、子どもとのマッチング等のフォロアップ業務の民間委託や、里親支援の在り方を検討しており、市町・民間と連携・協力して里親委託を強力に推進し、支援する仕組みを構築していく。

**問** 児童虐待等で親子分離せざるを得ない子どもが、能力を最大限高め、挑戦できる社会の実現に向け、社会的養育の充実強化に全力で取り組む。

## アピランスケアへの 助成

**問** 「がん対策日本1」に加え、「女性の働きやすさ日本1」を掲げる本県として、がん患者の心の痛みを寄り添う「アピランスケア」の助成を行い、積極的に取り組むべきと考えるが、所見を伺う。

**答** がんとの共生を図る上で、アピランスケアも重要な要素であることから、補助制度を有する他県の実況も参考に検討していく。

**問** さらに、がん患者の心の痛みや悩みに寄り添うための相談支援機能の充実も図り、県民が、がんになっても仕事などが続けられ、自分らしく豊かに生きることができ、社会の実現を目指し、取り組んでいく。



自民議連  
いとう えいじ  
伊藤英治 議員  
(三原市・世羅郡)

## デジタル技術による 行政手続の簡素化等

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により増大している各種事務手続について、DX推進の観点から、先進的なデジタル技術を活用して手続を簡素化・効率化し、県民の利便性向上を図るべきではないか。

**答** 本県では、様々な手続を原則オンラインで行えるよう取組を進めている。今後も、業務プロセス全体を俯瞰し、デジタル技術も最大限活用しながら、手続の簡素化等に努める。

**問** また、従来の行政手続についても、全庁的に棚卸しをし、オンライン化できるかを仕分け、その過程で、添付書類の削減など、業務の流れの見直しも検討する。

## 教育のICT化と 個々の能力を引き出す教育

**問** 今後、全ての県立高校において、ICT端末を1人1台使用可能にする予定とのことだが、これを機に、画一的な授業の在り方を変革することや、個々の能力を最大限に引き出す教育の在り方について考えを伺う。

**答** 本県では、課題発見・解決学習など「学びの変革」に取り組む、主体的な学びへと改善を進めている。また、各生徒の学習進度や能力・関心等にに応じた授業づくりに取り組んでいる。

**問** ICTの活用は、「学びの変革」を推進する上で有効なツールと考えており、学校での活用機会の拡大と効果的な活用方法の研究を進めていく。



自民議連  
こばやし みのり  
小林秀矩 議員  
(庄原市)

## 新しい生活様式に対応した 産業と社会経済活動の再起動

**問** 産業は生活様式の時代の価値観に合わせて変遷してきた。新しい生活様式が求める価値観に対応した産業の振興施策をどう進めるのか。社会経済活動の再起動に向けた知事の信念を伺う。

**答** 事業継続や雇用の維持を図り、感染拡大がもたらした急激な環境変化に対応できる力強い産業構造の実現に向けて、イノベーションを強化し、産業の生産性の向上、新たな付加価値の創出等に全力で取り組む。

**問** 今後も、県民の命と暮らしを守り、県経済の早期回復を最優先とし、先頭に立って、国や市町等と緊密に連携し、本県のさらなる発展に向けてまい進していく。

## 新たな広島県中山間地域 振興計画

**問** 中山間地域の人口減少の抑制に向け、地域共通課題の人口対策等に加え、各地域の個別課題対策を示す必要がある。現計画の総括を踏まえ、どのような理念で、計画を策定するのか。

**答** 地域を支える人材の育成等を軸に、活性化につながる芽減少を背景に、待ったなしの課題に直面している。

**問** 地理的・社会的条件により異なる地域の実情に応じた資源の再配置など、サービス機能の最適化を念頭に検討を進め、地域に愛着を持ち、世代を超えて安心して暮らし続けることができる持続可能な中山間地域の実現を目指す。

**用語解説** **観光誘客促進事業**  
県内の宿泊事業者や旅行業者が実施する宿泊・旅行プランの造成・販売に要する経費を県が補助することにより、厳しい経営環境にある宿泊事業者等を支援する事業。

**用語解説** **運転免許センターの親子室**  
子育て世帯の講習受講者を目的に、講習室の後ろ側に壁強化ガラスで仕切った部屋。講師の音声はスピーカーで届けられ、子ども連れでも安心して受講できる。

**用語解説** **重症心身障害児**  
重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している児童のこと。

**用語解説** **アピランスケア**  
手術や抗がん剤の副作用等で生じた、がん患者の外見変化への悩みに対して、医療・技術・心理の面で支援すること。現在、多くの自治体で医療用補装具への補助制度が設けられている。

**用語解説** **DX**  
「デジタルトランスフォーメーション」の略称。「ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念。

**用語解説** **広島県中山間地域振興計画**  
県民、市町、県等の多様な主体が連携して中山間地域の振興に取り組んでいくための基本計画。計画期間は平成27年度から令和2年度までの6年間で、今年度、新たな計画の策定を予定。